

# 大成化工、2子会社統合

## BCP 設備投資1億円超 対策強化

【千葉】大成化工（東京都葛飾区、徳倉4月1日付で100%出資子会社の2社を統合）は、4月1日付で100%出資子会社の2社を統合して、成ファイケンケミカル

（千葉県旭市）を存続会社とし、環境関連・景観資材商品の企画・製造販売を手がける大成イーアンドエル（東京都葛飾区）を吸収合併する。経営効率を高め、開発型企業として付加価値の高い製品を提供する。

合併後の社長は、同2社の社長を務める稲生豊人社長が継続する。大成イーアンドエルの従業員15人を全員移管し、同社の資本全3000万円を大成ファイケンケミカルに資本準備金にする。

事業継続計画（BCP）対策強化の一環で、1～2年の間に、平屋の研究棟を改修し、2階建てにする。同じ敷地内にある試作ラインを改修後の2階部分に移設する。設備投資は1億円超を見込む。

2016年3月期の売上高見通しは大成イーアンドエルが約5億8800万円、大成ファイケンケミカルが約21億5400万円。合併後の大成ファイケンケミカルは17年3月期売上高は合算で約28億4700万円を目指す。